

行政のデジタル化については、情報システム標準化の期限とされる令和7年度内の実施に向け取り組みます。

下水道整備事業

浜田駅周辺を含む浜田処理区は、令和8年度の処理場稼働を目指し、公民連携により事業を進めています。

管路工事では、令和9年度完成を目指し、処理場建設工事を順次工事着手します。

公共交通の充実

令和5年度に行つた地域公共交通施策の総合的な見直しを踏まえて、令和6年3月に策定する「浜田市地域公共交通計画」に基づき、取り組みます。

「敬老福祉乗車券交付事業」は利用可能枚数を拡大し、継続実施することとしました。「あいのりタクシー等運行支援事業」も更なる普及を図り、高齢者などの皆さんご利用しやすくなるよう改善を図ります。

石見交通が路線廃止を決定した有福線は、令和6年4月から市生活路線バスとして運行し、沿線住民への影響が最小限となるよう努めます。

民間施設が行う魅力化向上のための改修や、新たな宿泊プランや美肌食メニューの開発を支援し、交流人口拡大を図ります。

旭



山ノ内梨園

山ノ内梨園の利活用に取り組みます。昨年、島根県、JAしまね、生産者などの関係者で、

その他 上水道の基幹管路の耐震化などに取り組みます。

暮らせるまち

周布橋の架け替え工事

令和3年8月豪雨で被災した周布橋は、現在、新しい橋梁の下部工事を進めています。引き続き工事を進め、令和7年12月末までの供用開始を目指します。



周布橋の架け替え工事

周布川西側への新避難所の設置

周布川周辺に避難指示などを発令する際、周布川西側の住民が迅速かつ安全に避難できる防災拠点として、「周布川西コミュニティー防災センター」の整備に着手しました。本年の出水期までには供用開始できるよう、工事を進めます。

再び騒音が増加しており、引き続き島根県や関係市町と共同で、外務省・防衛省に飛行訓練の中止及び対策強化を申し入れます。

その他

河川の浸水想定区域などを見直したハザードマップを作成し、全世帯へ配布するとともに、消防による応急手当指導や消火訓練にも取り組みます。

「浜田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、一人ひとりの生き方や考え方を認め合い、尊重される社会の実現に引き続き取り組みます。

その他

「浜田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、引き続き男女共同参画社会の実現に取り組みます。また、定住促進に向けた相談対応、空き家の有効活用、関係人口との連携を図ります。



まちなか交流プラザでの「はまだファンタスカフェ」の様子

米軍機騒音問題

令和5年7月のオープン以降、「はまだ協働学舎ファンタス」と連携し、若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の交流の場となるよう取り組みます。

まちなか交流プラザの活用

令和5年7月のオープン以降、高校生や大学生など多くの市民に利用いただき、「はまだ未来アトリエ」として島根県立大学のゼミ活動や市民講座にも活用されるなど、大学と地域がつながる「場」となっています。

引き続き、浜田商工会議所や「はまだ協働学舎ファンタス」

と連携し、若者から高齢者まで世代を超えた多様な市民の交流の場となるよう取り組みます。

令和3年度の学部再編により得し整備します。令和5年度から設計業務に着手し、令和6年度には外構工事に着手、令和7年度末の供用開始を目指します。

島根県立大学との連携

キヌヤ長澤店の土地を一部取り組んでおり、令和3年度から設計業務に着手し、令和6年度には外構工事に着手、令和7年度末の供用開始を目指します。

市内の他の高等教育機関を含む新入生に対する浜田探索ツアーや、これまで以上に積極的に地域やまちづくり活動団体と交流し、本市の課題解決に向けた共同研究などに取り組んでおられます。

国際関係学部と地域政策学部が設置されました。大学では、これまでに地域住民と交流し、地域の課題解決に取り組むなど、三隅地域に貢献する学校として本市にとって大切な存在であり、今後も必要な支援を行います。

金城



温泉総選挙「うる肌部門」全国第1位の美又温泉

各地域で力を入れること

「浜田市男女共同参画推進計画」に基づき、引き続き男女共同参画社会の実現に取り組みます。また、定住促進に向けた相談対応、空き家の有効活用、関係人口との連携を図ります。

令和6年度予算

令和6年度予算（案）です。島根、通称「リハカレ」の経営改善を引き続き支援します。

リハカレは、少子化の進展などで学生数が減少し、大変厳しい経営環境にあります。

令和5年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を再開しました。

宿泊につながる魅力的な体験プログラムが必要と考え、「まちなか交流プラザ」が指定する伝統・文化、有機農業に着目したプログラムに、地元住民と一緒になって取り組みます。

三隅



ふるさと体験村での春まつり

三隅

再開したふるさと体験村の運営支援に力を入れます。

ふるさと体験村は、平成30年10月から休業していましたが、令和5年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を維持するため、赤梨生産者の手を確保と事業継承支援などに並行して取り組みます。

弥栄

令和6年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を再開後、徐々に利用者が増えていますが、宿泊者数や体験交流は目標数値を下回っています。

宿泊につながる魅力的な体験プログラムが必要と考え、「まちなか交流プラザ」が指定する伝統・文化、有機農業に着目したプログラムに、地元住民と一緒になって取り組みます。

二隅

リハビリテーションカレッジ島根、通称「リハカレ」の経営改善を引き続き支援します。

リハカレは、少子化の進展などで学生数が減少し、大変厳しい経営環境にあります。

二隅

再開したふるさと体験村の運営支援に力を入れます。

ふるさと体験村は、平成30年10月から休業していましたが、令和5年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を維持するため、赤梨生産者の手を確保と事業継承支援などに並行して取り組みます。

二隅

令和6年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を再開しました。

宿泊につながる魅力的な体験プログラムが必要と考え、「まちなか交流プラザ」が指定する伝統・文化、有機農業に着目したプログラムに、地元住民と一緒になって取り組みます。

二隅

令和6年4月28日に地元まちづくり団体である「まちなか交流プラザ」が指定管理者となり運営を再開しました。

宿泊につながる魅力的な体